

ソフトボール部

全員がソフトボール初心者。笑顔、全力をモットーに高い目標を持って日々練習に励んでいます。

- か … 感謝（感謝する心、感謝される行動）
- じ … 自信（自信につながるだけの努力）
- か … 感動（感動を与え、感動を共有）
- せ … 積極性（自分から行動、攻めの姿勢）

角館高校ソフトボール部員が大切にする「心の四則演算」

- 足し算(+) … 人とたすけ合うこと
- 引き算(-) … 何事も率先して引き受けること
- 掛け算(×) … 声をかけ合うこと
- 割り算(÷) … 人をいたわること

◎社会貢献



令和6年4月26日午後2時頃、角館町地内の駐車場において転倒している高齢者を発見し、協力して救護を行い高齢者の自宅まで送り届けました。人命救助に貢献したことで、仙北警察署から感謝状、秋田県高等学校PTA連合会から善行賞をいただきました。

令和6年度大会成績

○全県高校女子ソフトボール選手権大会

[令和6年4月13日(土) 能代市ソフトボール場]

1回戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
角館	0	0	1	0	0			0
新屋	0	0	1	6	1×			8

バッテリー : 石郷岡 - 樫尾

二塁打 : 石郷岡

先発でマウンドにあがった石郷岡が2回までノーヒットの完璧なピッチングを披露。3回表2死から9番伊藤が見事なセーフティバントでチャンスを作ると1番石郷岡が左中間を破る2塁打を放ち1点を先制した。4回表に無死から守備のミスからランナーを背負うとさらにミスが続き、わずかヒット2本で6点を失ってしまった。7回裏に守備のミスから無死1, 3塁のピンチを招いたが、ここで磨いてきたトリックプレーを披露。厳しいジャッジとなったが、会場を大いに沸かせた。



○県南総体 優勝（3連覇）

角館 7－0 横手城南
 角館 7－0 湯沢翔北
 ＊人数不足の規定による

○高校女子ふれあいソフトボール大会 6位

[令和6年5月3日（金）～5日（日） 石鳥谷ふれあい運動公園]

予選リーグ 2勝0敗（1位通過）

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
角 館	4	0	0	0	0	0		4
花北青雲	0	0	2	0	0	1		3

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
角 館	2	0	3	4				9
山形商業	0	2	3	2				7

順位決定リーグ 0勝2敗（5，6位決定戦へ）

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
角 館	1	0	1	0	0			2
花 巻 東	0	5	0	0	4			9

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
角 館	0	0	0	0	0			0
新 屋	1	4	3	0	×			8

順位決定戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	計
角 館	2	2	0	0	4	2	0	2	0
一関第二	0	0	3	0	4	0	3	2	7

*試合途中で選手の負傷により棄権したため、公式記録は0対7となります。

○中央支部総体

[令和6年5月11日(土)～12日(日) 矢島ソフトボール場・矢島多目的運動広場]

1回戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
聖 霊	0	0	0	0				0
角 館	2	1	3	4×				10

準決勝

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
4校合同	1	0	0	0	1	3	0	5
角 館	1	0	0	1	0	0	0	2

○全県総体

[令和6年6月1日(土) 能代市ソフトボール場]

1回戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
角 館	0	0	0	0	0			0
秋 田 北	6	1	2	0	×			9

バッテリー : 石郷岡・北田・石郷岡 - 樫尾

初戦は、投打にバランスがとれた前年度優勝の秋田北と対戦。初回にチャンスを作るもチームカラーである機動力が上手く機能せず無得点。その裏に守備のミスが絡み、6点を先制される苦しい展開となった。高い志を持った選手が多く、どのチームにも負けない努力を積み重ねたことで、練習試合等で他県の強豪相手に接戦を演じるなど自信をつけて臨んだ大会ただけに悔しい結果となってしまった。攻めの姿勢を最後まで貫き、経験の浅い選手も優れたプレーが随所に見られ、周囲に大きな感動を与えた。



○県民体育大会

[令和6年7月6日(土) 能代市ソフトボール場]

1回戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
角 館	0	0	2	0	0	0	0	2
由 利	1	0	3	0	1	0	×	5

バッテリー : 石郷岡 - 樫尾

二塁打 : 石郷岡

初戦は、全県総体準優勝で東北大会にも出場した由利と対戦。終始互角の勝負を繰り広げたが、一歩及ばず惜敗した。チームを牽引し、集大成に相応しい戦いを繰り広げた3年生7人のプレーに大きな拍手が送られた。

○全県新人

[令和6年9月28日(土) 由利本荘市ソフトボール場]

1回戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
角 館	0	1	0	0	0			1
新 屋	3	0	1	3	1			8

バッテリー : 田口 - 三浦

初戦は、全県総体優勝の原動力となったバッテリーが残る強豪新屋と対戦となった。攻撃面では、好投手相手に持ち前の機動力が上手く機能した部分もあったが、攻めきれず追加点を奪うことが出来なかった。守備面では、エース田口の好投で打ち取った打球がほとんどであったが、連携ミスからの失点が響き、最後まで自分たちのペースに持ち込むことが出来なかった。得点差はあったが、内容的には互角以上に戦えている部分が多く、来季に向けて大きな希望の持てる試合となった。

令和5年度大会成績

○県南総体 優勝（2連覇）

[令和5年5月13日（土） 湯沢翔北高校ソフトボール場]

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	計
湯沢翔北・聖霊	0	0	1	0	4回コールド				1
角館	10	4	9	×					23

バッテリー : 田口・井上・佐藤 - 藤元 (桔)

本塁打 : 田口

三塁打 : 長澤

二塁打 : 福岡・井上

決勝戦

角館 7 - 0 横手城南・西目

* 没収試合の規定による

初戦は、自分たちの持ち味を存分に発揮することが出来、終始優位に試合を展開することが出来た。3人の投手が、相手打線に的を絞らせない投球で上手く試合をコントロールした。攻撃では、長短打に加え、足を絡めた奇襲攻撃が上手く機能し、大量得点を奪うことが出来た。決勝戦は、相手選手の負傷による没収試合となり、2連覇を達成した。



○全県総体 第3位

[令和5年6月3日(土) 由利本荘市ソフトボール場]

2回戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
角 館	0	0	0	5	1	0	2	8
明 桜	0	2	0	1	0	0	2	5

バッテリー : 田口 - 樫尾・藤元(桔)

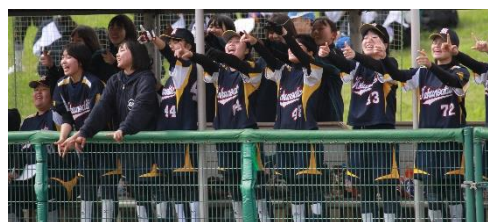
二塁打 : 福岡・樫尾

準決勝

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
角 館	0	0	0	0	1	0	0	1
新 屋	2	0	2	0	1	2	×	7

バッテリー : 田口 - 樫尾

初戦は、好投手を擁する明桜との対戦。初回、2死1、2塁の好機を作るも得点できず、2回裏に2点を先制される苦しい展開となった。2回表、3回表と3者凡退が続き、2点を追う4回表の攻撃も簡単に2アウトをとられ、暗雲が漂うもここから驚異的な粘りを見せた。5番北田、6番高橋(璃)の連続ヒットから7番福岡の四球で2死満塁。8番藤元(惺)、9番佐藤が厳しいボールをしっかりと見極め連続押し出し四球で同点。1番田口と2番長澤が連続タイムリーで続き、一挙5点をあげた。7回裏は、3年生9人が守備につき、リードを守った。準決勝の相手は、昨年の全県新人戦を制した新屋。気迫のこもった好プレーが随所に見られたが、惜しくも敗戦し、第3位という結果となった。



○県民体育大会 第3位

[令和5年7月1日(土)～2日(日) 能代市ソフトボール場]

1回戦

角館 7-0 明桜

*没収試合の規定による

2回戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
大館桂桜	2	0	1	6	0	0	0	9
角館	0	0	4	1	3	3	×	11

バッテリー : 田口(理)・佐藤 - 藤元(桔)・檜尾

二塁打 : 檜尾

準決勝

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
角館	0	0	0	0	0	0	0	0
由利	3	0	0	0	3	0	×	6

バッテリー : 田口(理) - 檜尾



○県南新人 優勝 3連覇

角館 7-0 横手城南

角館 7-0 湯沢翔北

*人数不足の規定による

○中央支部新人 第5位

[令和5年9月9日(土)～10日(日) 由利本荘市ソフトボール場]

1回戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
角館	0	0	2	0	1	0		3
秋田北	0	0	6	1	1	2×		10

バッテリー : 北田 - 檜尾

順位決定トーナメント

1回戦

角館 7-0 能代松陽・横手城南・湯沢翔北

*人数不足の規定による

5, 6位決定戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
角館	4	1	3	3	6	5回コールド		17
大館桂桜	0	0	0	2	1			3

バッテリー : 北田・田口 - 檜尾

本塁打 : 田口

3塁打 : 伊藤

2塁打 : 伊藤

1回戦は、優勝した秋田北高校と対戦。制球に苦しむ相手投手を攻め、幸先よく2点を先制したが、四球や守備の乱れからピンチを招き、得点を献上してしまった。内容的には、互角以上の戦いをしたが、攻守ともに本来の力を出し切れず、悔しい敗戦となった。

○全県新人

[令和5年9月30日(土) 由利本荘市ソフトボール場]

1回戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
由利	3	0	0	1	3	0	1	8
角館	0	0	1	0	0	0	0	1

バッテリー : 北田・石郷岡ー 樫尾

初回、公式戦に臨む緊張感から守備が思うように機能せず、3点を献上。その裏、先頭打者が出塁したものの後続が打ち取られ無得点。2回、3回と守備を立て直し、迎えた3回裏。ヒットと相手の守備妨害等を絡めて1点を返した後、一死2、3塁と攻めたが、後続が打ち取られ、1得点に終わった。その流れがそのままその後の守備に響き、追加点を献上。持てる力を全く出し切れず悔しい敗戦となった。



令和4年度大会成績

○県南総体 優勝

[令和4年5月7日(土) 角館高校定時制校舎ソフトボール場]

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	計
横手城南	4	0	0	0	4回コールド				4
角館	4	2	6	2					14

バッテリー : 鈴木・高橋(茉)・鈴木 - 田口

三塁打 : 長澤

二塁打 : 高橋(茉)2・澤田(茜)・田口2・長澤

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	計
角館	3	15	0	1	4回コールド				19
湯沢翔北・西目	0	0	4	0					4

バッテリー : 高橋(茉)・武藤・高橋(茉) - 田口・茂木

三塁打 : 鈴木・武藤・藤田

二塁打 : 松田・茂木・長澤2

序盤緊張から固さも見られたが、徐々にチームカラーを発揮し、試合を優位に展開した。守備に若干の不安を抱えていたが、2試合でタイプの異なる3人の投手が自分の持ち味を存分に披露し、守備の連係も上手く機能した。自慢の攻撃面では、複数の長短打に足を絡めた奇襲攻撃で試合続けて2桁得点を記録。2試合連続の4回コールド勝ちで優勝した。



○全県総体

[令和4年6月4日(土)]

由利本荘市ソフトボール場

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
新屋	0	0	4	2	0	6		12
角館	3	0	0	1	0	0		4

バッテリー : 高橋(茉)・鈴木 - 田口

三塁打 : 高橋(茉)・田口

二塁打 : 佐藤(光)

初回、二本の長打とヒットエンドランを絡めて鮮やかに3点を先制。第1シードで前年度の全県新人優勝チームである新屋高校を相手に試合を優位に進めた。優勝候補の粘りに逆転を許したが、互角に試合を展開し、周囲に感動を与えた。コロナ禍で活動が制限された中でチームを牽引してきてくれた3年生。その集大成に、大きな拍手が送られた。



○県民体育大会

[令和4年7月2日(土) 能代市ソフトボール場]

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
角館	0	0	0	0	0	5回コールド		0
秋田北	2	1	0	5	×			8

バッテリー : 高橋(茉)・鈴木 - 田口

○県南新人

[令和4年9月3日(土) 湯沢翔北高校ソフトボール場]

優勝 2連覇

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
角館	2	3	0	0	1	1	1	8
横手城南・湯沢翔北・西目・聖霊	0	0	0	0	1	1	0	2

バッテリー : 田口 - 檜尾・藤元(桔)

本塁打 : 田口

二塁打 : 高橋

田口の先頭打者ホームランで幕を開け、序盤でペースをつかみ、終始試合を優位に展開した。危なげない試合運びで見事2連覇を成し遂げた。



○**全県新人** [令和4年10月1日(土)～2日(日) 由利本荘市ソフトボール場]

祝! 第3位



2回戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
角館	8	4	1	3	4回コールド			16
大館桂桜	1	0	0	0				1

バッテリー : 田口 - 樫尾

二塁打 : 田口2、樫尾

準決勝

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
角館	1	0	0	0	0	3	0	4
新屋	1	4	0	1	0	0	×	6

バッテリー : 田口 - 樫尾

三塁打 : 田口

二塁打 : 石郷岡

2回戦は、投打がかみ合い、コールドで勝利することができた。その勢いそのまま臨んだ準決勝の相手は優勝した新屋高校。幸先よく先制するも序盤で逆転を許し、苦しい試合展開となった。5点差をつけられたもののあきらめない姿勢が実を結び6回の攻撃で3点を返し、2点差とした。7回の攻撃も2死1、2塁の場面で1番田口が左中間に大飛球を放った。同点打と思われたが、相手中堅手の好守にはばまれ惜敗。その奮闘ぶりは、会場全体を大いに沸かせ、将来性を感じさせてくれる一戦となった。

令和3年度大会成績

○県南総体 第2位

[令和3年5月8日(土) 角館高校定時制校舎ソフトボール場]

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	計
横手城南	0	0	0	4	0	2	2	1	9
角館	0	0	3	0	1	2	2	0	8

バッテリー : 柴田 - 藤本

本塁打 : 柴田、茂木

二塁打 : 福山、高橋(茉)

2回表に無死2, 3塁のピンチを招くも、ショートフライと2つの三振で0点に抑える。均衡を破ったのは3回裏。一番柴田の本塁打の後、二番藤本、三番高橋(茉)がヒットで続き、四番福山の二塁打で3点を先制。4回表に逆転されたが、5回裏に一死3塁から三番高橋(茉)のストライクバントから相手の守備を見ながら3塁走者の柴田が本塁をつくソフトボールならではの攻撃で同点に追いつく。2点ビハインドの6回裏。リエントリーした六番佐藤(光)がヒットで出塁。続く七番茂木の2ランホームランですぐに追いつく。さらに2点ビハインドの7回裏。先頭の二番藤本がヒットで出塁。三番高橋(茉)のデッドボールの後、パスボールで無死2, 3塁。ここで四番福山の犠牲フライで一点差。二死後、六番佐藤(光)のヒットで同点となり、タイブレークに入った。最後は1点及ばず準優勝となった。



○全県総体

[令和3年6月5日(土)～6日(日) 由利本荘市ソフトボール場]

祝! 第3位

創部以来初となる快挙。
角館高校ソフトボール部に
歴史の1ページを刻んだ。



2回戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
横手城南	0	0	0	0	0	5回コールド		0
角館	0	2	1	4	×			7

バッテリー : 柴田 - 藤本

準決勝

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
角館	0	0	0	1	4回コールド			1
秋田北	7	0	3	4×				14

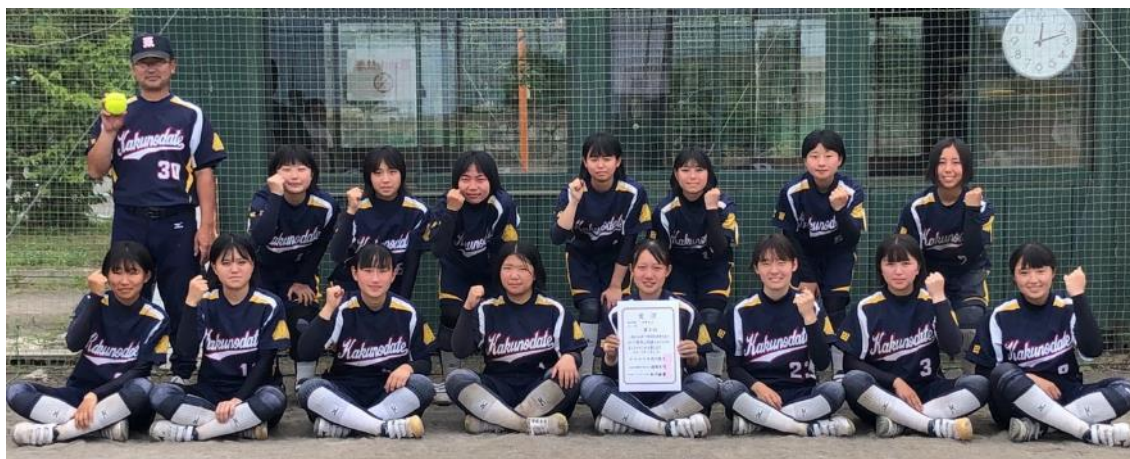
バッテリー : 柴田 - 藤本

2回戦は、県南総体決勝で8回タイブレークの末に敗れた相手だが、果敢な走塁で相手の守備を翻弄して着実に得点を重ね5回コールドで快勝。投げてはエース柴田が被安打1、奪三振9の快投でチームを勝利に導いた。準決勝の相手は、優勝した秋田北。3番から始まる2回裏の攻撃を3者凡退に抑え、4回裏の攻撃も状況に応じた守備シフトを駆使し、2死までこぎつけるなど見せ場を作った。また、得点できなければ、敗戦してしまう場面で高橋(菜)の好走塁と澤田(茜)の意地の一打で1点を返すなどチーム一丸となって得点した場面は、周囲を感動させた。

○県民体育大会

[令和3年7月3日(土)～4日(日) 由利本荘市ソフトボール場]

第3位



2回戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
聖 霊	0	0	0	0	5	0		5
角 館	2	0	1	1	0	8×		12

バッテリー : 柴田 - 藤本、茂木、藤本

2塁打 : 福山

準決勝

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
新 屋	0	1	0	0	3	6		10
角 館	0	0	0	0	0	0		0

バッテリー : 柴田 - 藤本

祝 優勝



決勝戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
角 館	2	0	0	2	0	4	0	8
横手城南・湯沢翔北・西目	1	0	0	3	0	2	0	6

バッテリー : 高橋(茉)、鈴木、高橋(茉) - 田口、茂木

2塁打 : 高橋(茉)、田口

初回、先頭高橋(茉)の2塁打を皮切りに幸先良く2点を先制。その後、守備のミスから失点し、接戦になったが、投手を中心とした守りで要所を締め、一度も相手にリードを許さず、8対6で優勝した。本校主将の仲間の大切さと周囲への感謝を述べた選手宣誓は、周囲に大きな感動を与えたとともに、チームの士気を高め、全力プレーにつながった。

○全県新人

[令和3年10月2日(土)]

由利本荘市ソフトボール場

1回戦

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
角館	0	1	2	5	2	0	0	10
明桜	1	1	0	1	3	7	×	13

バッテリー : 高橋(茉)、鈴木 - 茂木、田口

2塁打 : 田口

相手は、インターハイに何度も出場経験のある県内屈指の強豪校。初回に1点を先制されたものの、序盤からバントやヒットエンドランなどをからめた攻撃で、相手の守備を翻弄し、試合を優位に進めた。5回を終了して4点リードしたが、相手の粘りに逆転を許し、惜しくも敗退した。全員プレーをモットーに力を結束して白球を追う姿は、周囲に大きな感動を与えた。

